

令和7年度使用中学校用教科用図書を選定

○ 選定理由概要

教科	発行番号	発行者略称	選定理由
国語	38	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資質・能力を活用して学びを深めたり、異なる領域で同じ話題を扱うことで、生徒の考えを深めたりする工夫が見られる。 ○ 思考力・判断力・表現力等を育成するために、巻頭の「思考の地図」で思考の方法を示し、学習の際に目的に応じて使うことができる工夫が見られる。 ○ 「学びのかぎ」一覧において、領域ごとに1年間の学習内容がまとめられ、生徒が身に付けた力を確認できるようになっている。 ○ 基礎・基本の定着のために、描写や言動・思考に関する適切な表現が語彙一覧表として「語彙ブック」にまとめられている。
書写	38	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のポイントを具体的な説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を確認しながら学習できる工夫が見られる。 ○ 自分で課題を発見させたり、問いに対して、話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。 ○ 「書写ブック」を使用することで、学びを硬筆や他教科の学習にも活用できるように工夫している。 ○ 基礎・基本の確実な定着のために、「学びのかぎ」が設定されている。

教 科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
社 会 (地理)	1 1 6	日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小单元ごとに獲得した知識を生かして、議論できる問いが設定してあり、生徒が主体的に学ぶことができるような工夫が見られる。 ○ ポートフォリオを活用することで思考の整理をさせやすくする工夫が見られる。 ○ 生徒が地域住民として、南那珂地区を扱った内容や「プロ野球キャンプ」を学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。
地 図	4 6	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いのコーナーを設けて、地図の読み取りを深めさせるなどの工夫が見られる。 ○ SDG s の特設ページを設けて、SDG s の視点で地図・資料を考察するページを設置するなどの工夫が見られる。 ○ 社会的な見方・考え方を働かせる問いを設定することで習熟を図ることができるように工夫されている。

教科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
社 会 (歴史)	2	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考力・判断力・表現力等を育成できるよう、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用して整理できるなどの工夫が見られる。 ○ 「チェック&トライ」で1時間の学習をふり返った後、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、各章や節のまとめにつなげることができる。 ○ 「地域の歴史を調べよう」などを通じて、生徒が地域とつながりのある事象を学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。
社 会 (公民)	2	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「くらげチャート」や「ツールミン図式」を活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりすることができる。 ○ 動画視聴や資料の画像拡大など学びをサポートしたり深めたりするためのQRコンテンツが準備されるなど工夫が見られる。 ○ 生徒が地域住民と協力し地域の課題を解決していくことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。

教 科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
数 学	6 1	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考力・判断力・表現力等の育成のために、ことがらが成り立つ理由を説明したり、他者と自分の考えの違いを伝えたりする活動を設けるなどの工夫が見られる。 ○ 場面理解や話し合い活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツなどを用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。 ○ 章末問題では、「考え方」や詳しい「解説動画」をQRコンテンツとして用意し、生徒が一人でも取り組みやすいようにするなどの工夫が見られる。
理 科	6 1	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識を活用して解決することのできる問いを設定し、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことができるようにしている。 ○ 「Action活用してみよう」など、発表や活動の場面を設定することで生徒の学びを深めるような工夫が見られる。 ○ 二次元コードにより基礎問題、練習問題、動画を見て考える問題、「Review」や「学習のまとめ」、「力だめし」によって、習熟を図ることができるように工夫されている。 ○ 「学ぶ前にトライ!」「学んだ後にリトライ!」では様々な知識を活用して解決することができるような問いが設定されている。

教 科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
音 楽 (一般)	1 7	教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えや感じ取った曲想、共通点や相違点等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。 ○ 二次元コードにより、動画や音源を視聴しながら生徒が自分のペースで学習を進められるような工夫が見られる。 ○ 生徒が地域の伝統音楽や文化の伝承について学び、特徴を理解することを通して、地域への愛着を育むための工夫が見られる。 ○ 「コンピュータで表現しよう」や「ポピュラー音楽図鑑」などの資料ページでは、音楽科の学習と学校外における音楽活動とのつながりが確認できる工夫がされている。
音 楽 (器楽)	1 7	教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に演奏する楽しさや喜びを味わえるよう、それぞれの楽器の特徴を生かしたアンサンブル曲が充実している。 ○ 学んだ楽器で旋律をつくったり、合奏したりする楽しさを味わえるような工夫が見られる。 ○ 箏の学習を推進するために、五線譜で示された練習曲で基本的な奏法を習得した後、発展的な楽曲へと段階を追って習得できるように工夫されている。

教 科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
美 術	3 8	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平面表現から、立体的な表現へと繋げられており、平面的な表現と立体的な表現とを一体的に扱う工夫が見られる。 ○ 表現につながる鑑賞作品が掲載され、QRコードによって多くの生徒作品を鑑賞できたり、作品によっては、作者の思いを知ったりすることができるようになっている。 ○ 表現することの大切さと、SDG s のような社会問題の解決にさえ力を発揮し得る表現の多様性やメッセージ性についても触れている。 ○ 技法等の横断的に活用できる知識・技能が、別冊資料やその中のQRコードの中に示されている。
保健体育	2	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常経験や既習事項を基に課題を捉えさせることで、主体的に解決に取り組むことができる工夫が見られる。 ○ 読みやすい文字の大きさや行間に配慮し、多彩なデジタルコンテンツを必要に応じて活用できる等、生徒にとって使いやすく分かりやすい工夫が見られる。 ○ 「広げる」で、自分の通学路や地域の状況を振り返り、改善点を考えさせる学習が設定されており、学習した内容を、命を守るための行動に繋げる工夫が見られる。

教 科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
技 術	2	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考力・判断力・表現力等を育成するために、最初に5段階の問題解決学習の流れを詳しく説明し、製作の例を3つ提示するなどの工夫が見られる。 ○ 生徒の興味・関心を高めるために、二次元コードから作業動画などのデジタルコンテンツを活用できるようにするなどの工夫が見られる。 ○ 生徒が「すごいぞ！技術」について学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。
家 庭	2	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「チャート」や「ウェビング」、「グルーピング」などの思考ツールの活用により、個人思考や集団思考を効果的に整理し、まとめていくことで深い学びに向かうよう工夫されている。 ○ 動画やシミュレーション、ワークシートなど教科書と連動して利用できる多種多様なQRコンテンツを使って家庭でも活用でき、主体的に進められるよう工夫されている。 ○ 地域の中で自分たちが考えてできることなどを紹介して、家庭や地域での実践を促す手立てが見られる。

教 科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
英 語	9	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各Programにおける様々な言語活動で活用した表現を「Our Project」で統合的・発展的に活用する工夫が見られる。 ○ 本文のシート以外に「学習者支援」のシートがあり、精選された情報が大きく表示されたり、四線ノート等を活用できたりするなど、学習者に配慮した工夫が見られる。 ○ 「Word Web」では、英単語をジャンル別にまとめて、生徒が学習を進めるうえで助けとなる工夫が見られる。
道 徳	38	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」では二つの問いで学びのテーマに迫り、「チャレンジ問いを立てよう」では、生徒自らが問いをもち探究することができるような工夫が見られる。 ○ 「考えよう」では学びのテーマを示し、テーマに迫るための二つの問いや発展的な問いを示すことで、生徒が1時間の学びの流れを見通しやすくするような工夫が見られる。 ○ 自分の地域の伝統行事について考えさせる場面が設定されており、地域の願いや思いを基盤とした学習ができるような工夫が見られる。